

【試合結果】

男子 第9試合											
日時	平成29年4月16日(土) 12:40 ~										
会場	千歳市スポーツセンター Bコート										
結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 30%;"> 鳥屋野 新潟 </td> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; width: 30%;"> 港川 沖縄 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">55</td> <td></td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> </table>	鳥屋野 新潟	}	港川 沖縄	55		44				
	鳥屋野 新潟	}	港川 沖縄								
55		44									
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">20 - 11</td> <td style="width: 50%;">●</td> </tr> <tr> <td>15 - 7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 - 14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 - 12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>OT</td> <td></td> </tr> </table>	20 - 11	●	15 - 7		14 - 14		6 - 12		OT	
20 - 11	●										
15 - 7											
14 - 14											
6 - 12											
OT											

第10回北海道カップ中学生バスケットボール大会



【ボックススコア】

鳥屋野		新潟						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	吉井 諒	DNP						
5	小川 敦也	×	17	1	7	0	1	0
6	成澤 頼	×	9	0	3	3	6	2
7	品田 真吾	×	15	0	7	1	3	0
8	山崎 悠真	/	5	1	1	0	1	0
9	平岡 陸太朗	/	0	0	0	0	0	1
10	長野 幹大	DNP						
11	畑山 錬	DNP						
12	塚野 真生	DNP						
13	小澤 太智	DNP						
14	五十嵐 奏人	DNP						
15	鶴間 大翔	DNP						
16	加藤 健人	×	3	0	0	3	0	4
17	岩瀬 太樹	DNP						
18	島倉 欧佑	×	6	0	3	0	6	2
HC	堀 里也							
合計			55	2	21	7	17	9

港川		沖縄						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	名城 伶真	DNP						
5	小渡 宏次朗	×	3	0	1	1	3	4
6	花城 怜翼	×	10	2	2	0	1	0
7	金岡 篤矢	×	10	1	3	1	0	3
8	仲間 音生	/	0	0	0	0	0	2
9	嘉数 宜喬	DNP						
10	新里 陽昴	DNP						
11	玉城 浩志	DNP						
12	棚原 雄斗	×	8	0	4	0	0	4
13	津波 恭哉	DNP						
14	仲間 勝春	DNP						
15	又吉 篤秀	DNP						
16	高良 翔夢	DNP						
17		DNP						
18	ポーク 健	×	13	0	5	3	10	3
HC	大見謝 匡							
合計			44	3	15	5	14	16

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

第10回 北海道カップ招待チーム同士の新潟県鳥屋野中学校と沖縄県港川中学校の対戦。

鳥屋野⑤⑥⑦⑬⑱ 港川⑤⑥⑦⑫⑱がスターティングメンバー。

1Q、港川は#18を起点に効果的に得点を入れる。鳥屋野は#5#6のピックアンドロールからゴールに向かう。それぞれの持ち味を生かしながらゲームが進む。鳥屋野が速攻と力強いドライブを決めてリードを広げる。終盤、ターンオーバーを確実に得点につなげた鳥屋野が20-11とリードして1Q終了。

2Q、鳥屋野#7#5の華麗なショットでリードを広げる。それぞれの選手が自分の役割を理解して、無駄が少なく迷わずプレーしている。港川もショットまではいくが決まらず苦しい時間が続く。しかし、#6の3Pをきっかけに追い上げる。終始、安定したプレーで優位に進めた鳥屋野が35-18とリードして前半を終える。

3Q、両チームともに疲れを感じさせなくアグレッシブにプレーし、ナイスプレーが随所に見られた。ラリーの応酬の中で、確実に得点を重ね、リードを広げた鳥屋野が49-32とリードして3Q終了。

4Q、セカンドチャンスを見逃さず得点した港川が追い上げにかかる。鳥屋野がタイムアウトですぐに修正するが、港川のペースは変わらない。鳥屋野はリードを保ちながら必死に守り、チャンスを狙う。残り時間が少なくなり、港川は#18にボールを集め攻撃を試みる。どんな状況でも場面を理解し、判断良くプレーした鳥屋野のチームスタイルには感心させられた。港川も最後まであきらめずに必死にプレーした。両チームの校プレーに心から拍手を送りたい。

最終的に鳥屋野が55-43で勝利し、北海道カップ全勝で今年度の第1位に輝いた。